

プロジェクト名

玉川学園地区 さくらと緑のプロジェクト

活動の目的

玉川学園地域には玉川学園の学校創設時に植栽した桜が民地を含めて、さまざまな種類の桜が植栽されています。しかし、これらの桜は老木化が進み枯損したり、宅地分譲の際に伐採されたり、敷地を越境した枝が強剪定を受けて樹形や樹勢が衰退した個体が、数多く目に付くようになってきました。

かつて「さくらの散歩道」として親しまれた、景観を再生したり、現状にあった桜をメインにした景観を新たに創出し、緑あふれる街並みづくりを進め、「約90年を経た学園のまちづくりの地域資源」を次世代に継承することを目的とします。

活動の内容

現状を把握する基礎調査の実施（個体数を減らしている原因調査、管理保全体制を整備）

「桜のある街」の価値を住民に今一度認識してもらう環境づくりを行います。

植栽できる適地を探し、現状に合った樹種の転換や選択を行います。（再生設計）

他の地域活動や事業者、行政などの協力を図ります。1992年のさくらの散歩道と現在の道の乖離を知ってもらい、これからの玉川学園は、桜並木を必要とするのか否か、まずは地域で確認する活動からはじめます。そのための桜の基礎調査、再生設計であり、合意された将来像のもとに、具体的な手法（都市計画、景観、街づくり）などの検討を進めます。

3年間の活動計画

1年目

現状の基礎調査
桜に関する住民懇談
地域活動団体と懇談
桜に係わるイベントを継続

2年目

景観基本設計案の作成
植栽の適正地の調整や交渉
景観のコンセプト（30年）
樹種の選定

3年目

樹種調達 工事目論見
植栽地の整備、土壌改良
植樹 子供のイベント
管理体制の構築

活動場所と時間



「さくらの散歩道」 1992年版地図

<場所>

- 2・3丁目（花影坂 八巻道路 ども広場）
- 7・8丁目（花壇道路 第三踏切）
- 4・5丁目（小川 玉川池）

<会議>

コミュニティセンター地域活動室

<時間> 随時

さくらと緑のプロジェクト(NPO 法人玉川学園地区まちづくりの会 緑の街並みづくり事業) メンバー：27名

代表者：木村彰男

連絡先：042-720-8364 090-4224-3567 kimura21@jcom.home.ne.jp